

様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 杏林会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人☐ 出資額限度法人 ☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 和歌山県和歌山市西仲間町 1 丁目 3 0 番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 昭和 6 0 年 1 0 月 2 9 日

(4) 設立登記年月日 昭和 6 0 年 1 0 月 1 7 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長		
理 事		
同		
同		
同		
同		
同		
監 事		
同		
評 議 員		
同		
同		

注) 1. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 7 条第 1 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床等
病院	嶋病院	和歌山県和歌山市西仲間町1丁目 30番地	一般病床 57床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床] 精神病床 床 感染症病床 床 結核病床 床
診療所			一般病床 床 療養病床 床 [医療保険 床] [介護保険 床]
介護老人 保健施設			入所定員 名 通所定員 名

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 付帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
無し		

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

(3) 収益事業（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
無し		

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で決議又は同意した事項

令和 3 年 5 月 平成 31 年度決算の決定

令和 3 年 5 月 役員改選

注) 以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(7) そ の 他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式3-2

法人名 医療法人 杏林会

※医療法人整理番号

所在地 和歌山県和歌山市西仲間町1丁目30番地

貸 借 対 照 表
(令和 4年 3月31日現在)

(単位: 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	229,106	I 流動負債	187,598
現金及び預金	83,831	支払手形	9,202
事業未収金	128,728	買掛金	80,311
有価証券	4,320	短期借入金	92,811
たな卸資産	8,478	未払費用	653
前払費用		未払法人税等	783
繰延税金資産		未払消費税等	
その他の流動資産	3,749	繰延税金負債	
II 固定資産	627,175	繰前受り	3,138
1 有形固定資産	537,488	繰前受当	
建築物	96,340	その他の流動負債	700
構築物	2,757	II 固定負債	389,250
機械備品	62,500	医療機関借入金	389,250
車両及び船舶	14,922	長期借入金	
土地	360,969	繰延税金負債	
建設仮勘定		繰引当	
その他の有形固定資産		その他の固定負債	
2 無形固定資産	6,527	負債合計	576,848
借地権		純資産の部	
ソフトウェア	6,169	科 目	金 額
その他の無形固定資産	358	I 資本金	3,000
3 その他の資産	83,160	II 資本剰余金	
有価証券		III 利益剰余金	276,483
長期貸付金		別途積立金	420,750
役員等長期貸付金		繰越利益剰余金	-144,317
長期前払費用		IV 評価・換算差額等	
繰延税金資産		純資産合計	279,483
その他の固定資産	83,160	負債・純資産合計	856,281
資産合計	856,281		

(注) 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式4-1

法人名 医療法人 杏林会

※医療法人整理番号

所在地 和歌山県和歌山市西仲間町1丁目30番地

損 益 計 算 書
(自 令和3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日)

(単位: 千円)

科 目	金 額	額
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		743,552
2 事業費用		
(1) 事業費	783,700	
(2) 本部費		783,700
本来業務事業利益		-40,148
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
附帯業務事業利益		
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
収益業務事業利益		
事業損失		-40,148
II 事業外収益		
受取利息	15	
その他の事業外収益	12,526	12,541
III 事業外費用		
支払利息	1,938	
その他の事業外費用	524	2,462
経常損失		-30,069
IV 特別利益		
固定資産売却益		
その他の特別利益		
V 特別損失		
固定資産売却損		
その他の特別損失		
税引前当期純損失		-30,069
法人税・住民税及び事業税		
法人税等調整額		
当期純損失		-30,069

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目を持って、別に掲記することを妨げないこと。

様式 2

法人名 医療法人 杏林会

※医療法人整理番号

所在地 和歌山県和歌山市西仲間町 1 丁目 3 0 番地

財 産 目 録
(令和 4 年 3 月 3 1 日現在)

1. 資 産 額	856,281 千円
2. 負 債 額	576,848 千円
3. 純 資 産 額	279,433 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	229,106
B 固 定 資 産	627,175
C 資 産 合 計 (A + B)	856,281
D 負 債 合 計	576,848
E 純 資 産 (C - D)	279,433

(注) 財産目録の価格は、貸借対照表の価格と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。			
土 地	(□ 法人所有 □ 賃借	■ 部分的に法人所有 (部分的に賃借)	
建 物	(■ 法人所有 □ 賃借	□ 部分的に法人所有 (部分的に賃借)	

法人名 医療法人 杏林会
所在地 和歌山市西仲間町1丁目30

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
✓									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

該当取引無し

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
✓							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式 5

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 杏林会

理事長 嶋 渡 殿

私は、医療法人杏林会の令和3会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決済書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実はありません。

令和4年 5月25日

医療法人 杏林会

監事 岩崎 弘一